



日本情報考古学会会報 No. 13

2002 (平成 14) 年 12 月

BULLTEIN OF JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION
No.13 Dec. 2002

目 次

日本情報考古学会第 15 回大会	
の福井開催のご案内.....	1
学会賞推薦のお願い.....	2
日本情報考古学会第 14 回大会報告.....	2
「情報考古学」の発送と論文募集.....	4
会報への広告掲載について.....	4
「会員近況」の掲載について.....	4

日本情報考古学会第 15 回大会の 福井開催にあたって

日本情報考古学会第 15 回大会を福井で開催することになりました。今でこそ地方都市ですが、昔は京の都に近く、それを思わせるような遺跡等も数多くございます。また、越前一乗谷朝倉氏遺跡の近くには佐々木小次郎が燕返しをあみ出したと伝えられている一乗滝もございます。通過することはあっても下車することはあまりない福井だと思いますが、今回の大会を機会に一度訪れていただくと幸いです。そして、往時の勢いを再現できるような情報考古学の手法を発表していただければと考えております。

地方での開催となりますので、皆様にはいろいろとご不便をおかけすることになると思いますが、多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。また、その際には、情報考古学にご関心のある方々をお誘いいただくと幸いです。多くの皆様とお会いでき、有意義な大会となることを祈念しております。

〈大会日程及び講演募集〉

さて、本学会の第 15 回大会が下記の日程にて開

催されますので、御案内致します。

日時：平成 15 年 3 月 15 日(土)、16 日(日)

15 日(土)一般講演, 特別講演
夕刻懇親会

16 日(日)一般講演, 特別講演

会場：15 日(土)：福井大学

16 日(日)：一乗谷朝倉氏遺跡

〈特別講演・見学会〉

現在、プログラムについて検討を行っているところですが、大会では特別講演および一乗谷朝倉氏遺跡の見学等を予定しております。研究発表のテーマ等詳しくは、学会のホームページをご覧ください。

特別講演として、福井高専の荻野先生に内諾を頂きました。

講師：荻野 繁春 先生(福井工業高等専門学校)

題目：考古学を情報処理する！

「考古学からみた情報処理」といった観点で、現在行っている具体例をもとに、考古学と情報処理とについてお話して頂きます。

荻野先生は、壺等の容量等を画像から算出する方法に関するお仕事をされています。

〈研究発表〉

第 15 回大会での講演をご希望の方は、

- ・講演題目
- ・発表者
- ・所属
- ・連絡先
(住所・電話・ファックス・電子メール)
- ・発表に使用する機器等

を電子メール、ファックス、郵送のいずれかで以下の事務局までお申し込み下さい。

申込先：

〒106-8569 東京都港区南麻布 4-6-7

統計数理研究所 村上研究室内

日本情報考古学会事務局
Tel./Fax. : 03-5421-8766
E-mail : murakami@ism.ac.jp

学会賞推薦のお願い

日本情報考古学会では、本会の発展および情報考古学の研究に貢献した会員に対し、下記の三つの賞

- ・日本情報考古学会賞
- ・日本情報考古学会論文賞
- ・日本情報考古学会優秀賞

申込〆切：平成15年1月10日(金)

なお講演申し込みに関する詳細については、下記の「一般講演について」を参照して下さい。

<研究発表について>

1) 発表内容

遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

2) 発表時間

質疑応答を含んで、発表1件当り30分を予定しています。(発表件数などによって変更することがありますのでご了承ください。)

3) 予稿集原稿提出

予稿集原稿は6枚程度です。原稿はA4版ですが、特に書式は決めておりません。ただ上下に3cm、左右は2cmの余白を作ってください。また、予稿原稿には600字程度の要旨をつけて下さい。この要旨は、学会誌である『情報考古学』に大会発表報告として掲載されますので、よろしくお願ひいたします。

予稿集原稿は、平成15年1月31日(金)

学会事務局必着となっています。

4) 予稿集の編集について

ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿を御提出下さい。なお、提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5) 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

6) 発表機材

OHP プロジェクタと液晶プロジェクタが利用できる見込みです。その他の機材が必要な方は、事務局に御相談ください

を授与し、その功績を顕彰することになっています。つきましては、同封いたしました推薦書(またはEmailにて)で候補者を2003年1月10日(木)までに御推薦ください。

〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7
統計数理研究所 村上研究室内
日本情報考古学会事務局
Tel./Fax. : 03-5421-8766
E-mail : murakami@ism.ac.jp

日本情報考古学会第14回大会報告

日本情報考古学会第14回大会は、平成14年9月28日(土)、29日(日)の二日間、静岡大学浜松キャンパスにて開催されました。大会において講演された内容を以下に示します。

第一日目：2002年9月28日(土)

講演1 13:00~13:30

木口 裕史・植田 真 ((株)パスコ)

「地理情報考古学のスケーラビリティの現状と課題」

講演2 13:30~14:00

鈴木 直美・足立 共司 ((株)フジヤマ)

「GISに関わる諸段階」

講演3 14:00~14:30

津村 宏臣 (総合研究大学院大学)

「GISを用いた古生態地理変遷図の作成」

講演4 14:30~15:00

清水 宣義 (金沢学院大学)

「考古学におけるGISの活用ー石川県鳥屋町河田古墳群の調査よりー」

講演 5 15:10～15:40
八重樫 純樹 (静岡大学)
「考古学資料アーカイブの諸問題に関わる考察」

講演 6 15:40～16:10
西村 淳 (函館大学)
「規格性の研究」

と
講演 7 16:10～16:40
吉田 裕之((株)三菱総合研究所) 赤羽 敏行((株)理創) 高橋 正樹 (東京大学大学院) 村上 征勝 (統計数理研究所)
「日本情報考古学会における研究発表の分析」

特別講演 1 16:40～17:40
佐藤 洋一郎 (静岡大学)
「DNA考古学」



懇親会 18:00～
静岡大学 浜松キャンパス 生協北食堂 にて



第一日目 : 2002年9月29日(日)

講演 8 9:00～9:30
竹内 啓二
「方格規矩鏡における鋸歯文の規格性一尺単位以下、八進法による 8/8 と 64/64 の採寸値から (漢式及び仿製鏡) ー」

講演 9 9:30～10:00
大工原 豊 (安中市教育委員会)
「縄文石器の統計処理」

講演 10 10:00～10:30
佐々田 友規 (東京都港区立港郷土資料館)
「北海道周堤墓の副葬品配置にみられる規則性」

講演 11 10:30～11:00
石井 好 (都立航空工業高等専門学校)
「『漢倭奴国王』の再検討」

講演 12 11:00～11:30
津村 宏臣 (総合研究大学院大学)
「石器ブロックの関連指数分析と時系列動態」

特別講演 2 11:30～12:30
向坂 剛二 (元浜松市立博物館館長)
「考古情報にみる日本列島の西と東」



総会 12:30～13:00

□ 第 14 回(静岡)大会の紹介が、中日新聞(2002,9.28・29)・静岡新聞(2002,9.29)に掲載されました。今回これらの記事のコピーを同封いたしました。記事はホームページにもあります。

(<http://saikaku.ism.ac.jp/jsai/>)

「情報考古学」の発送と論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」Vol. 8, No. 1 は、この 9 月に発行し、第 14 回大会にて配布いたしました。第 14 回大会に参加できなかった方には郵送いたしました。

「情報考古学」の次号 Vol. 8, No. 2 は、次回大会時に刊行・配布予定です。多くの会員の方からの投稿を期待しております。投稿は、下記会誌編集委員会までお願いいたします。

〒101-8433

東京都千代田区一ツ橋 2-2-1

共立女子短期大学生活科学科

植木武(会誌編集委員会副委員長)

Tel : 03-3237-2524

Fax : 03-3237-2692

また、第 14 回大会に参加できなかった方で、「情報考古学」Vol. 8, No. 1 が、まだお手元に届いていない場合は学会事務局までご連絡ください。

会費納入のお願い

各位におかれましては、学会運営をスムーズに行うため、会費の納入にご協力をお願い致します。また会員数の増加も緊急の課題です。会員数倍増に向您協力をお願い致します。

会報への広告掲載について

日本情報考古学会報に、今後も継続的に広告を掲載し、会報の郵送費等に当てることができればと考えております。会員の皆様もお心当たりがございましたら、ご紹介下さい。

「会員近況」の掲載について

会報では、日本情報考古学会員相互の交流を図り、

今後の活動をますます発展させていくことを目指して、会員の近況を紹介していくことにいたしました。つきましては、会員の皆様には研究活動、顕彰、移動等の情報をお寄せ下さいますようお願い致します。

中国唐時代の資料

松山市の栗田亀弘様から下記のようなお手紙が届いております。資料の送付を希望される方は日本情報考古学会の会員であることを明記されて栗田様の方へご連絡願います。

先祖が中国から持ち帰った唐の時代の資料がありますが、日本情報考古学会には該当しないのですか?

該当するようでしたら資料を研究される先生にお送りいたしてもと考えております。

愛媛県松山市太山寿町 1507

FAX 0899-78-1653

栗田亀弘 様

日本情報考古学会会報 No. 13

発行 日本情報考古学会

2002年12月1日

〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7

統計数理研究所 村上研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax. : 03-5421-8766

E-mail : murakami@ism.ac.jp